

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2012年3月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	トレンド・アロケーション・オープン	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券、マネー・プール マザーファンド受益証券
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	先進国の国債、世界各国のETF等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産へ、実質的に投資します。 ・安定的な資産成長のために、市場環境に応じて機動的な資産配分を行います。 ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

トレンド・アロケーション・オープン



第10期（決算日：2022年1月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「トレンド・アロケーション・オープン」は、去る1月25日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、トレンジ・アロケーション・オープン（以下、トレアロ）は、2022年1月25日に第10期の決算を迎えました。当期（2021年1月26日～2022年1月25日）におけるトレアロの運用成果は、3.7%の上昇となりました。

当期の金融市場は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う経済正常化への期待や、各国の財政出動および金融緩和の継続等が相場の支えとなり、米国株式の最高値更新が続くなど、先進国株式、リート、コモディティ等の主要高リスク資産は大きく上昇しました。新興国株式は、その中心構成国である中国における特定業種の規制強化懸念や不動産市場の冷え込みを背景に市場が大きく下落したことが重石となり、先進国とは対照的に下落しました。また、2021年後半には、新型コロナウイルスのオミクロン変異株の感染拡大による景気減速懸念等を背景に高リスク資産は一時的に下落したものの、その後いくつかの研究結果から重症化率が低いことが示唆されると、再度上昇に転じました。2022年に入り、特に欧米を中心に一時的と考えられていたインフレが高止まりすると懸念や堅調な労働市場を背景に、中央銀行の金融政策姿勢がより正常化へ向けて傾斜すると意図から、金利は大きく上昇しました。結果、金利敏感資産やバリュエーションが高いとされる株式が足元軟調となるなど、これまでの景気回復・緩和相場とは異なる様相を呈しています。

トレアロはこうした刻々と変化する市場環境における資産価格トレンドを分析し、機動的な資産配分を行ったことで、先進国株式やコモディティなど各資産の上昇トレンドの追い風を背景に、堅調なパフォーマンスとなりました。結果として、基準価額は2022年1月25日現在11,056円にまで回復しました。加えて、トレアロは、幅広い資産へ分散投資を行い、機動的に配分を変更することでポートフォリオのリスクを管理しています。こうしたリスク管理によって、トレアロは市場が一時的に不安定となる場面も上手く乗り切ることができたと考えています。

当期のトレアロの資産配分につきましては、過去1年の高値からの下落率が15%以内に収まることを目指すリスク管理戦略（ダウンサイド・リスク・マネジメント）を背景に、前期から引き続き最大許容損失率が0%の状況が続く中、短期債券・キャッシュ等を中心とする低リスク資産100%の保守的な資産配分からスタートしまし

た。その後、2021年2月下旬より、過去1年の高値が切り下がり最大許容損失率が回復したことを受け、株式やコモディティなどの高リスク資産の組入れを再開しました。市場変動の高まりやタイミングの分散を鑑みながらも前述のトレンジ分析に基づき高リスク資産の組入れを着実に進めた結果、当期末時点においては高リスク資産比率が73%、低リスク資産比率が27%（表示桁未満四捨五入）の資産配分となっています。

足元の不透明な投資環境下においても、トレアロを長期の資産運用におけるパートナーとしてご愛顧いただいていますこと、大変ありがたく思っております。その出現から2年近く経過した今も、世界経済は変異を繰り返す新型コロナウイルスへの対処を強いられており、大きく前進したものの以前のような経済・社会活動への回復途上にあります。また、インフレの高止まり懸念と堅調な労働市場を背景とした金融政策の正常化に伴い米国で利上げが控えている一方、国内景気の悪化懸念から金融緩和を行う中国、くすぶる地政学リスクなど、不透明かつ変化が激しい市場環境を想定しており、より一層機動的な資産配分変更が運用の要となると考えています。こうした不透明な投資環境下においても、長期的に皆さまの資産運用にプラスの成果をご提供するという我々のミッションに変わりはありません。皆さまのご期待に応えられますよう、引き続き運用品質の維持・向上に励みつつ、運用業務に尽力してまいります。

今後ともトレアロと末永くお付き合いさせていただきますよう、心よりお願い申し上げます。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
シニア・ポートフォリオ・マネージャー
櫛野 誠

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税込み	分配金	期騰落中率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
6期(2018年1月25日)	12,967	0	0	11.9	—	—	99.3	137,401
7期(2019年1月25日)	11,468	0	0	△11.6	—	—	99.0	156,624
8期(2020年1月27日)	12,749	0	0	11.2	—	—	98.9	152,700
9期(2021年1月25日)	10,663	0	0	△16.4	—	—	98.9	108,034
10期(2022年1月25日)	11,056	0	0	3.7	—	—	98.9	96,452

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2021年 1月25日	円 10,663	% —	% —	% —	% 98.9
1月末	10,661	△0.0	—	—	98.9
2月末	10,566	△0.9	—	—	99.1
3月末	10,641	△0.2	—	—	99.0
4月末	10,905	2.3	—	—	99.1
5月末	11,018	3.3	—	—	99.2
6月末	11,101	4.1	—	—	99.3
7月末	11,299	6.0	—	—	99.1
8月末	11,369	6.6	—	—	99.1
9月末	11,095	4.1	—	—	99.0
10月末	11,432	7.2	—	—	99.0
11月末	11,375	6.7	—	—	99.2
12月末	11,530	8.1	—	—	98.2
(期 末) 2022年 1月25日	11,056	3.7	—	—	98.9

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

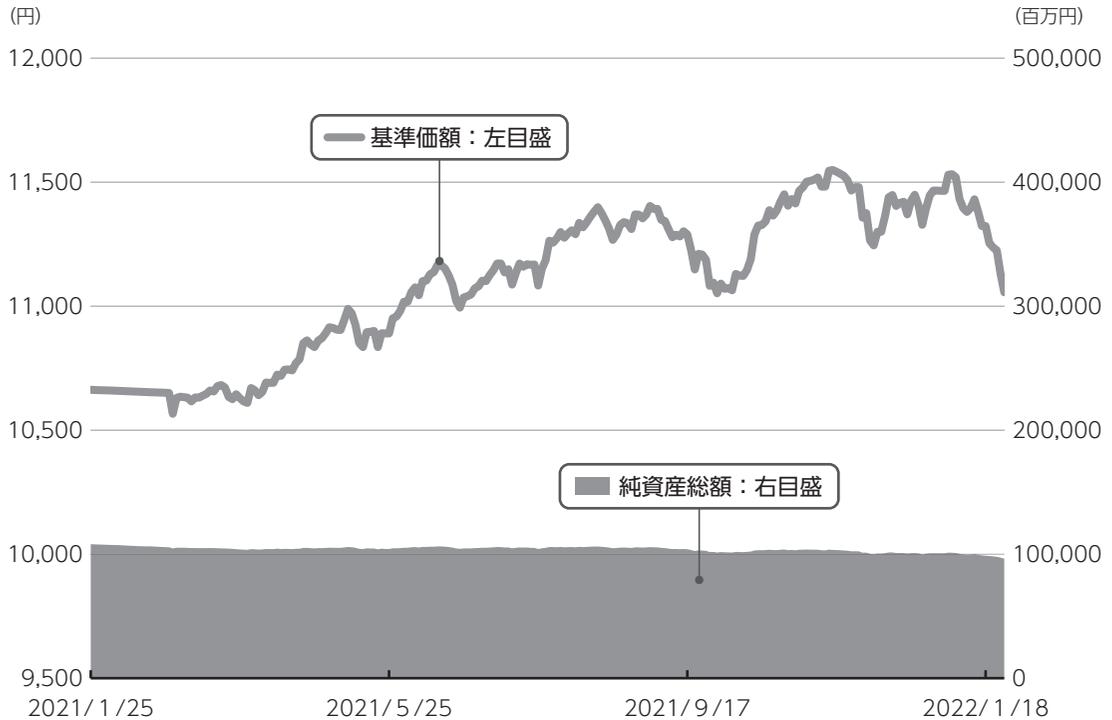
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期：2021年1月26日～2022年1月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	10,663円
第10期末	11,056円
既払分配金	0円
騰落率	3.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.7%の上昇となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

保有していた期間において、コモディティや先進国株式などの資産の価格が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

▶ 国債市況

各国の国債利回りは上昇しました。

日本を含む先進国の国債利回りは、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策正常化の進展が示唆されたことや、物価上昇に対する懸念などから上昇しました。新興国の国債利回りも、スプレッド（米国公債に対する利回り差）が拡大したことなどから上昇しました。

▶ 株式市況

先進国の株式市況は上昇、新興国は概ね下落しました。

先進国の株式市況は、FRBや欧州中央銀行（ECB）による金融緩和姿勢の継続、またバイデン米政権による経済政策への期待や、新型コロナウイルスワクチンの普及を背景とした経済正常化への期待などを背景に、期首から2021年12月にかけて上昇しました。2022年1月にはFRBの金融政策正常化見通しや国債利回りの上昇などから下落しましたが、期を通じてみると上昇しました。日本の株式市況も期を通じてみると上昇しました。一方、新興国の株式市況は概ね下落しました。

▶ リート、コモディティ

リートや原油価格は上昇、コモディティ価格は概ね上昇、金価格は小幅に下落しました。

米国や日本のリート市況は、株式市況と同様の理由などにより、期を通じてみると上昇しました。コモディティ価格は概ね上昇しました。原油価格は、経済正常化による需給改善期待などを受け上昇しました。金価格は、米ドルがユーロや円に対して上昇したことなどを背景に小幅に下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足元のコール・レートは-0.021%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ **トレンド・アロケーション・オープン**
 円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行いました。

▶ **ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）**

先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に実質的に投資しました。また、組入比率の調整を目的として、世界各国の先物取引も利用しました。

為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築しました。

【トレンド・アロケーション】
 先進国株式やコモディティなどの高リスク資産の上昇トレンドが強かったことから、高リスク資産の比率を高めとしました。

【タクティカル・アセット・アロケーション】

基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」では、高リスク資産の見通しを高めとしました。

【ダウンサイド・リスク・マネジメント】

2021年2月下旬より、過去1年の高値が切り下がり最大許容損失率が回復したことを受け、株式やコモディティなどの高リスク資産の組入れを再開しました。

これらの結果、期末の資産クラス別構成比は高リスク資産72.7%、低リスク資産27.3%となりました。

(ご参考)

■資産クラス別構成比

期首（現地2021年1月22日）

資産クラス		比率	
低リスク 資産	先進国国債	78.6%	
	先進国社債	0.0%	
	新興国国債	0.0%	
	現金等	21.4%	
高リスク 資産	先進国株式	0.0%	0.0%
	新興国株式	0.0%	
	コモディティ	0.0%	
	リート	0.0%	

期末（現地2022年1月24日）

資産クラス		比率	
低リスク 資産	先進国国債	26.2%	
	先進国社債	0.0%	
	新興国国債	0.0%	
	現金等	1.2%	
高リスク 資産	先進国株式	43.6%	72.7%
	新興国株式	0.0%	
	コモディティ	20.1%	
	リート	8.9%	

- ・比率はダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合です。
- ・現金等は、短期債券を含みます。また、為替ヘッジの含み損益を含むためマイナスになることがあります。
- ・資産クラス別構成比は、アリアンツ・グローバル・インベスターズからの情報提供を基に表示しています。
- ・各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

(注) 当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第10期 2021年1月26日～2022年1月25日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,964

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ **トレンド・アロケーション・オープン**
引き続き、円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行います。

▶ **ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）**
先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のＥＴＦ等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に実質的に投資します。

為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行う方針です。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンスайд・リスク・マネジメント」を活用して構築します。

▶ **マネー・プール マザーファンド**
消費者物価の前年比は依然として２％を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2021年1月26日～2022年1月25日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	77	0.693	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(37)	(0.330)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	78	0.701	

期中の平均基準価額は、11,101円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

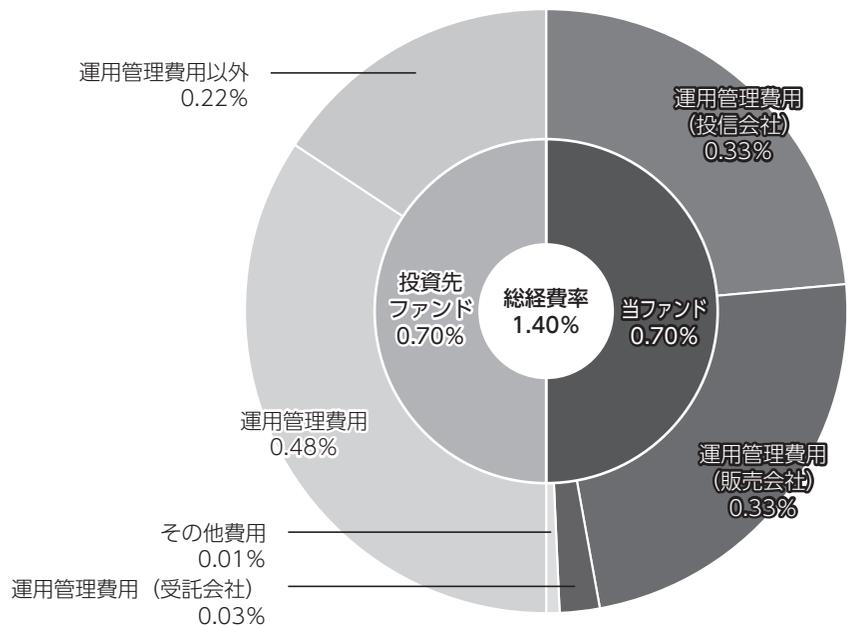
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.40%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.40
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.70
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.48
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.22

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年1月26日～2022年1月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口 —	千円 —	千口 16,214,128	千円 16,206,700

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月26日～2022年1月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口数	口数	評価額	比率
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口 111,457,264	千口 95,243,136	千円 95,386,001	% 98.9
	合 計	千口 111,457,264	千口 95,243,136	千円 95,386,001	% 98.9

(注) 比率はトレンド・アロケーション・オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当 期 末	
		口数	口数	評価額
	マネー・プール マザーファンド	千口 997	千口 997	千円 1,001

○投資信託財産の構成

(2022年1月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 95,386,001	% 98.4
マネー・プール マザーファンド	1,001	0.0
コール・ローン等、その他	1,595,009	1.6
投資信託財産総額	96,982,011	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	96,982,011,933
コール・ローン等	1,595,009,426
投資信託受益証券(評価額)	95,386,001,210
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,001,297
(B) 負債	529,116,760
未払解約金	165,586,981
未払信託報酬	359,129,034
未払利息	745
その他未払費用	4,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	96,452,895,173
元本	87,240,795,269
次期繰越損益金	9,212,099,904
(D) 受益権総口数	87,240,795,269口
1万口当たり基準価額(C/D)	11.056円

<注記事項>

- ①期首元本額 101,321,264,706円
 期中追加設定元本額 3,968,939,382円
 期中一部解約元本額 18,049,408,819円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1056円です。

②分配金の計算過程

項 目	2021年1月26日～ 2022年1月25日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	17,447,589,216円
分配準備積立金額	8,418,133,839円
当ファンドの分配対象収益額	25,865,723,055円
1万口当たり収益分配対象額	2,964円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2021年1月26日～2022年1月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 224,807
受取利息	3,679
支払利息	△ 228,486
(B) 有価証券売買損益	4,011,727,067
売買益	5,704,491,458
売買損	△ 1,692,764,391
(C) 信託報酬等	△ 729,501,736
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,282,000,524
(E) 前期繰越損益金	△11,121,233,611
(F) 追加信託差損益金	17,051,332,991
(配当等相当額)	(17,447,589,216)
(売買損益相当額)	(△ 396,256,225)
(G) 計(D+E+F)	9,212,099,904
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	9,212,099,904
追加信託差損益金	17,051,332,991
(配当等相当額)	(17,447,589,216)
(売買損益相当額)	(△ 396,256,225)
分配準備積立金	8,418,133,839
繰越損益金	△16,257,366,926

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、トレンド・アロケーション・オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）
運 用 方 針	アリアンツ・グローバル・インベスターズの「ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略」による運用を行います。 ・ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略は、「基本資産配分（トレンド・アロケーション）」、「基本資産配分に対する微調整（タクティカル・アセット・アロケーション）」、「下落リスクへの対応（ダウンサイド・リスク・マネジメント）」を組み合わせることにより、リスク調整後の良好なリターンを獲得を目指します。
投資顧問会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー ※アリアンツ・グローバル・インベスターズのドイツ拠点です。
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2012年3月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2021年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

投資収益

受取配当金（外国税額控除後）	¥	37,891,316
投資収益合計		37,891,316

費用

運用受託報酬		459,067,887
その他費用		199,189,495
会計処理および管理手数料		96,197,452
保管費用		33,359,694
名義書換事務代行手数料		11,476,704
専門家報酬		5,832,061
受託者報酬		1,462,259
登録手数料		1,143,093
費用合計		807,728,645

投資純利益 (769,837,329)

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券		(2,415,223)
先物取引		(60,944,591)
外国通貨取引および為替予約取引		(1,259,784,690)
実現純損益		(1,323,144,504)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券		931,943,909
先物取引		(136,295,492)
外国通貨取引および為替予約取引		560,249,616
未実現評価損益の純変動		1,355,898,033

実現および未実現損益（純額） 32,753,529

運用による純資産の増減（純額） ¥ (737,083,800)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2021年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

運用による純資産の増減額：

投資純損益	¥	(769, 837, 329)
実現純損益		(1, 323, 144, 504)
未実現評価損益の純変動		1, 355, 898, 033
運用による純資産の増減額		(737, 083, 800)

ファンドユニットの取引による純資産の増減額		(19, 997, 700, 000)
純資産の増減額		(20, 734, 783, 800)

純資産

期首		123, 513, 909, 905
期末	¥	102, 779, 126, 105

Class A

ファンドユニット取引

ユニット数		
償還		(20, 821, 636, 596)
ユニット増減数		(20, 821, 636, 596)

金額

償還	¥	(19, 997, 700, 000)
ファンドユニット取引による増減額	¥	(19, 997, 700, 000)

3. 投資明細表

(2021年3月31日現在)

(円で表示)

	元本金額	銘柄名	公正価値
		FIXED INCOME SECURITIES (32.8%)	
		GERMANY (4.6%)	
		GOVERNMENT BOND (4.6%)	
		Bundesobligation	
EUR	35,300,000	0.00% due 10/10/25	¥ 4,729,689,682
		TOTAL GOVERNMENT BOND	4,729,689,682
		TOTAL GERMANY (Cost ¥4,708,825,637)	4,729,689,682
		ITALY (11.0%)	
		GOVERNMENT BONDS (11.0%)	
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	
EUR	29,400,000	3.50% due 03/01/30 ^(b)	4,801,729,974
		Italy Certificati di Credito del Tesoro	
EUR	50,000,000	0.03% due 06/15/22 ^(a)	6,525,471,170
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	11,327,201,144
		TOTAL ITALY (Cost ¥11,306,416,777)	11,327,201,144
		JAPAN (10.3%)	
		GOVERNMENT BONDS (10.3%)	
		Japan Government 2 Year Bond	
JPY	10,000,000,000	0.10% due 04/01/21	10,000,000,000
		Japan Government 10 Year Bond	
JPY	581,700,000	1.00% due 09/20/21	584,637,585
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	10,584,637,585
		TOTAL JAPAN (Cost ¥10,583,585,981)	10,584,637,585
		UNITED STATES (6.9%)	
		GOVERNMENT BONDS (6.9%)	
		U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds	
USD	43,811,896	0.13% due 01/15/31	5,221,661,162
		U.S. Treasury Note	
USD	18,000,000	1.13% due 02/15/31	1,883,120,801
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	7,104,781,963
		TOTAL UNITED STATES (Cost ¥7,039,184,500)	7,104,781,963
		TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥33,638,012,895)	33,746,310,374
		Shares	
		EXCHANGE-TRADED FUNDS (24.8%)	
		LUXEMBOURG (3.6%)	
		Amundi MSCI Europe UCITS ETF	
	109,109		3,654,093,948
		TOTAL LUXEMBOURG (Cost ¥3,579,454,066)	3,654,093,948
		UNITED STATES (21.2%)	
		iShares MSCI USA Minimum Volatility ETF	
	1,682,436		12,889,247,533
	247,781	iShares MSCI USA Momentum Factor ETF	4,413,282,689
	441,959	Vanguard Real Estate ETF	4,495,252,636
		TOTAL UNITED STATES (Cost ¥20,926,977,363)	21,797,782,858
		TOTAL EXCHANGE-TRADED FUNDS (Cost ¥24,506,431,429)	25,451,876,806

(2021年3月31日現在)

(円で表示)

	元本金額	銘柄名	公正価値
		SHORT-TERM INVESTMENTS (49.3%)	
		CANADA (0.0%)^(a)	
		TIME DEPOSIT (0.0%)^(a)	
		Royal Bank of Canada	
CAD	136,454	0.00% due 04/01/21	¥ 12,022,665
		TOTAL TIME DEPOSIT	12,022,665
		TOTAL CANADA (Cost ¥11,856,213)	12,022,665
		FRANCE (0.0%)^(a)	
		TIME DEPOSITS (0.0%)^(a)	
		BNP Paribas S.A.	
CHF	41,113	(1.85)% due 04/01/21 ^(d)	4,816,372
		Societe Generale	
HKD	2,441,483	(0.06)% due 04/01/21 ^(d)	34,773,567
		TOTAL TIME DEPOSITS	39,589,939
		TOTAL FRANCE (Cost ¥39,041,824)	39,589,939
		GRAND CAYMAN (0.0%)^(a)	
		TIME DEPOSIT (0.0%)^(a)	
		Brown Brothers Harriman & Co.	
GBP	304	0.00% due 04/01/21	46,473
		TOTAL TIME DEPOSIT	46,473
		TOTAL GRAND CAYMAN (Cost ¥45,830)	46,473
		JAPAN (49.3%)	
		GOVERNMENT BONDS (17.4%)	
		Japan Treasury Discount Bill	
JPY	9,000,000,000	0.00% due 04/05/21	9,000,084,944
JPY	8,800,000,000	0.00% due 04/26/21	8,800,583,517
		TOTAL GOVERNMENT BONDS	17,800,668,461
		TIME DEPOSITS (31.9%)	
		MUFG Bank, Ltd.	
JPY	31,724,907,172	(0.31)% due 04/01/21 ^(d)	31,724,907,172
		Sumitomo Mitsui Banking Corp.	
EUR	127,600	(0.76)% due 04/01/21 ^(d)	16,568,485
USD	9,732,290	0.00% due 04/01/21	1,077,607,737
		TOTAL TIME DEPOSITS	32,819,083,394
		TOTAL JAPAN (Cost ¥50,604,603,197)	50,619,751,855
		UNITED KINGDOM (0.0%)^(a)	
		TIME DEPOSIT (0.0%)^(a)	
		Australia and New Zealand Bank Group, Ltd., London	
AUD	226,365	(0.54)% due 04/01/21 ^(d)	19,037,535
		TOTAL TIME DEPOSIT	19,037,535
		TOTAL UNITED KINGDOM (Cost ¥18,773,964)	19,037,535
		TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost ¥ 50,674,321,028)	50,690,448,467
		TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥108,818,765,352)	106.9% ¥ 109,888,635,647
		LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS	(6.9) (7,109,509,542)
		NET ASSETS	100.0% ¥ 102,779,126,105

^(a) Variable or floating rate security as of March 31, 2021.

^(b) 144A Security - Security exempt from registration under Rule 144A of the Securities Act of 1933. These securities may be resold in transactions exempt from registration, typically to qualified institutional buyers. Unless otherwise indicated, these securities are not considered illiquid.

^(c) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

^(d) Due to deposit rate cuts by central banks in Europe, Japan, Hong Kong and Australia, interest rates for Swiss Franc, Euro, Japanese Yen, Hong Kong Dollar and Australian Dollar-denominated short term investments may be less than zero percent.

(2021年3月31日現在)

(円で表示)

先物取引残高

ポジション	銘柄	限月	契約数	未実現評価損益
Long	Copper July Futures	07/2021	201	¥ (56,447,604)
Long	Corn July Futures	07/2021	755	66,857,138
Long	Hang Seng Index April Futures	04/2021	76	5,195,776
Long	S&P/TSX 60 Index June Futures	06/2021	24	(3,548,275)
Long	Soybean July Futures	07/2021	97	19,389,331
Long	SPI 200 June Futures	06/2021	60	(7,064,498)
Long	Sugar #11 June Futures	06/2021	1,170	(159,279,398)
Long	TOPIX Index June Futures	06/2021	147	50,996,000
Long	WTI Crude Oil June Futures	05/2021	209	(52,393,962)
				¥ (136,295,492)

ファンドレベルでの為替予約取引残高

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益(純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	5,072,940,750	06/16/2021	USD	46,500,000	¥ -	¥ (72,002,821)	¥ (72,002,821)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	13,568,125,000	06/16/2021	USD	125,000,000	-	(262,368,472)	(262,368,472)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	543,210,000	06/16/2021	USD	5,000,000	-	(10,009,739)	(10,009,739)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,095,855,000	06/16/2021	USD	10,000,000	-	(10,584,478)	(10,584,478)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	4,482,941,400	06/16/2021	USD	42,000,000	-	(164,104,407)	(164,104,407)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	4,742,905,500	06/16/2021	USD	45,000,000	-	(236,072,150)	(236,072,150)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	3,725,021,000	06/16/2021	EUR	29,000,000	-	(43,659,962)	(43,659,962)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,422,391,300	06/16/2021	EUR	11,000,000	-	(7,108,375)	(7,108,375)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	6,745,986,000	06/16/2021	EUR	52,000,000	-	(11,648,828)	(11,648,828)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,200,582,520	06/16/2021	EUR	9,200,000	5,000,974	-	5,000,974
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	7,149,532,500	06/16/2021	EUR	55,000,000	2,034,124	-	2,034,124
						¥ 7,035,098	¥ (817,559,232)	¥ (810,524,134)

(2021年3月31日現在)

(円で表示)

デリバティブの額

取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	担保の 受取	担保の 差入れ	純額	
店頭デリバティブ						
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co.	¥ 7,035,098	¥ (817,559,232)	¥ -	¥ -	¥ (810,524,134)
マスターネットिंग契約の 対象となるデリバティブ合計		¥ 7,035,098	¥ (817,559,232)	¥ -	¥ -	¥ (810,524,134)
資産及び負債における 店頭デリバティブ合計		¥ 7,035,098	¥ (817,559,232)			

通貨略称

AUD	-	Australian Dollar
CAD	-	Canadian Dollar
CHF	-	Swiss Francs
EUR	-	Euro
GBP	-	Great British Pound
HKD	-	Hong Kong Dollar
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第25期》決算日2022年1月14日

[計算期間：2021年7月15日～2022年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純資産額
	円	騰落率					
21期(2020年1月14日)	10,041	△0.0	—	—	—	—	百万円 130
22期(2020年7月14日)	10,041	0.0	—	—	—	—	117
23期(2021年1月14日)	10,041	0.0	—	—	—	—	230
24期(2021年7月14日)	10,040	△0.0	—	—	—	—	141
25期(2022年1月14日)	10,040	0.0	—	—	—	—	52

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率
	円	騰落率				
(期首) 2021年7月14日	10,040	—	—	—	—	—
7月末	10,040	0.0	—	—	—	—
8月末	10,040	0.0	—	—	—	—
9月末	10,040	0.0	—	—	—	—
10月末	10,040	0.0	—	—	—	—
11月末	10,040	0.0	—	—	—	—
12月末	10,040	0.0	—	—	—	—
(期末) 2022年1月14日	10,040	0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.020%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年7月15日～2022年1月14日)

その他有価証券	
---------	--

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 2,099,999	千円 2,199,999

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月14日現在)

2022年1月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年1月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 52,975	% 100.0
投資信託財産総額	52,975	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月14日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	52,975,883
コール・ローン等	52,975,883
(B) 負債	29
未払解約金	16
未払利息	13
(C) 純資産総額(A-B)	52,975,854
元本	52,766,508
次期繰越損益金	209,346
(D) 受益権総口数	52,766,508口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,040円

<注記事項>

- ①期首元本額 140,827,312円
 期中追加設定元本額 3,333,052円
 期中一部解約元本額 91,393,856円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0040円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	36,277,569円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	3,042,285円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,996,342円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円

○損益の状況 (2021年7月15日~2022年1月14日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 6,964
受取利息	206
支払利息	△ 7,170
(B) 当期損益金(A)	△ 6,964
(C) 前期繰越損益金	569,961
(D) 追加信託差損益金	13,292
(E) 解約差損益金	△366,943
(F) 計(B+C+D+E)	209,346
次期繰越損益金(F)	209,346

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (毎月決算型)	9,959円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (1年決算型)	9,959円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	年2回決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	年2回決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	毎月決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	毎月決算型		9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)			4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)			4,979円
合計			52,766,508円